

## 第252回教育研究評議会議事要録

1 日 時 令和6年3月22日（金）10:00～11:52

2 場 所 事務局第1会議室

3 議 事

(1) (個人情報を含む審議事項であるため非公開)

(2) 国立大学法人長崎大学基本規則の一部改正について

理事（総務担当）から、資料2に基づき、工学研究科及び水産・環境科学総合研究科が改組し、新たに総合生産科学研究科が設置されることに伴い、国立大学法人長崎大学基本規則を一部改正することについて説明があり、審議の結果、了承された。

(3) 長崎大学学則の一部改正について

理事（教学担当）から、資料3に基づき、地域の医師確保等の観点から、令和6年度の医学部医学科の入学定員を臨時増員すること、教育学部のカリキュラム見直しに伴い、同学部において取得することができる高等学校教諭一種免許状の免許教科の種類を見直すことにより、長崎大学学則を一部改正することについて説明があり、審議の結果、了承された。

(4) 長崎大学大学院学則の一部改正について

理事（教学担当）から、資料4に基づき、令和6年度から総合生産科学研究科を設置すること及び教職大学院入学前に大学院の単位を修得した場合に、当該単位修得時の大学院入学資格の有無にかかわらず、当該単位数、その取得に要した期間その他を勘案して在学期間の短縮を可能とするため、長崎大学大学院学則を一部改正することについて説明があり、審議の結果、了承された。

(5) 長崎大学学位規則の一部改正について

理事（教学担当）から、資料5に基づき、令和6年度から総合生産科学研究科が設置されることに伴い、別表において、学位及び専攻分野の名称を定めるため、長崎大学学位規則を一部改正することについて説明があり、審議の結果、了承された。

(6) プラネタリーヘルス推進本部要項の廃止について

議長から、資料6に基づき、プラネタリーヘルス推進本部を発展的に解消するため、プラネタリーヘルス推進本部要項を廃止することについて説明があり、審議の結果、了承された。

(7) 長崎大学高度感染症研究センター実験棟バイオリスク管理委員会規程の制定について

理事（研究・戦略企画担当）から、資料7に基づき、長崎大学高度感染症研究センター実験棟生物災害等防止安全管理規則（令和6年規則第3号）第5条第2項の規定に基づき、長崎大学高度感染症研究センター実験棟バイオリスク管理委員会の任務、組織、運営等に関し必要な事項を定めるため、長崎大学高度感染症研究センター実験棟バイオリスク管理委員会規程を制定することについて説明があり、審議の結果、了承された。

#### 4 報告事項

(1) 長崎大学化学物質管理規程他3件の一部改正について

理事（総務担当）から、資料8に基づき、労働安全衛生規則（昭和47年労働省令第32号）の一部改正に伴い、本学における化学物質管理体制等を見直すため、関連する規程に関して所要の改正を行うことについて、報告があった。

(2) 2023年度の教員活動状況分析について

理事（総務担当）から、資料9に基づき、2024年度に実施する「2023年度教員活動状況分析」の分析項目に関し、前回からの主な改善点等について、報告があった。

(3) 長崎大学計画・評価本部規則の一部改正について

理事（総務担当）から、資料10に基づき、会議の実質化・効率化を図る観点から、計画・評価本部会議を廃止するため、長崎大学計画・評価本部規則を一部改正することについて、報告があった。

(4) IR推進本部の今後の体制について

議長及び理事（研究・戦略企画担当）から、資料11に基づき、IR推進本部の円滑な運営に資する観点から、同本部の組織を見直すこと及び今後の活動について、報告があった。

(5) 科研費応募及び英語論文執筆に係る支援ツールの運用開始について

理事（研究・戦略企画担当）から、資料12に基づき、科研費応募支援を目的として、2月29日から新たに科研費調書オンライン閲覧サービスの運用を開始したこと、研究者・大学院生の英語論文執筆のスキルアップを目的として、3月18日からオンデマンド講習ツール「Nature Masterclasses Online」の運用を開始したこと並びに英語論文執筆の生産性、論文の質向上及び多忙な研究者が研究に専念できる時間の確保を目的として、3月18日から「AI英文校正・翻訳ツール Paperpal（ペーパーパル）」を導入したことについて、報告があった。

(6) グローバルリスク研究センター（仮称）設置構想について

理事（研究・戦略企画担当）から、資料13に基づき、長崎大学の歴史と教育・研究における強みを活かし、科学的アプローチと人文社会科学的叡智を統合し、核の使用リスクや地球環境破壊、パンデミックなど人類の存続に影響しうる地球規模のリスクについての学際的研究を推進し、人類が健康かつ安全で平和に存続できるプラネタリーヘルスの実現に貢献することを目的として、グローバルリスク研究センター（仮称）を設置することについて、報告があった。

(7) 令和6年4月以降の新執行部体制について

議長から、資料14に基づき、令和6年4月以降の新執行部体制について、報告があった。

(8) その他

ア 評議員等の退任について

議長から、令和6年3月31日限りで退任する評議員等について紹介があり、各人から挨拶があった。

イ 部課長等の異動について

事務局長から、部課長等の異動について紹介があった。

以上